

新潟市立岡方中学校

(様式 4-2 : 平成 29 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称：岡方未来創造会議 (地域発展&改善提言会)					
2. テーマ：地域提言					
3. 実施教科：総合的な学習					
4. 関連単元：					
5. 実施単元数：20					
6. 学年	3年	7. クラス数	1学級	8. 生徒数	34名
<p>9. 実施内容</p> <p>「岡方未来創造会議」は、三年間やってきた総合的な学習の総括的学習として実践した。これまで総合的な学習や、その他さまざまな面で協力してもらってきた地域への恩返しとして、生徒達が地域のことを深く考え、さらなる発展・改善を期して提言および意見交流を行う、というものだった。</p> <p>その中でモビリティ・マネジメント教育としては「(交通事故の) 危険箇所の改善」と「バス路線の誘致」の二つの提言があった。</p> <p>「危険箇所の改善」は、見通しが悪く、飛び出し事故の危険性の高い某地域の交通事情を訴えるもの。「バス路線の誘致」は、生徒の進路選択にも色濃く影響を及ぼしている地域の交通状況を考え、諸事情を考慮したうえで地域にとってもベター、ベストとなるバス路線誘致を訴えるものだった。</p> <p>計画当初、市議会議員も招いて、単に提言を発表するだけの会ではなく、実現性の伴うものにしたかったのだが、市教育委員会からの指導があつて、市議の参加は取りやめとなってしまった。そこで、最終提言会では、岡方地区の全自治会長さん達をお呼びして、その代表の方にすべての提言を一冊にまとめた提言集 (資料として添付) をセレモニー的にお渡しし、自治会の問題として以後取り組んでいただけるようにした。また、区の行政担当者にも臨席してもらい、セレモニーを初め、最終提言会の様子を見てもらった。提言が実現されることが何にも増して生徒達の成就感となろうし、地域の一員としての意識を成長させることになるからだ。</p> <p>また、提言集は図書館にも置いてもらった。来年度以降、継続または発展的に次代の生徒達に引き継がれることを意図してのことである。</p>					

10. 学習のながれ：

「岡方未来創造会議」は「地域発展&改善提言会」と名を変え（学年部で検討した結果、改称）、夏休み明けの9月より実践を開始した。『伝統文化の継承・保存』『交通状況の改善』『地域再開発』『その他』の四つの方向を示し、生徒に課題を設定させた。

生徒達が設定した課題は次のとおりである。

- 1班 岡方に安全を!!（交通状況の改善）
- 2班 学生向けバス開発事業 ～バスを作ろう～（交通状況の改善）
- 3班 岡方に食堂を（地域再開発）
- 4班 新規商店の誘致（地域再開発）
- 5班 岡方を発展させよう（地域再開発）
- 6班 イオンを建てよう（地域再開発）
- 7班 オリジナルスイーツを作る（地域再開発）
- 8班 SNSで地域活性化プロジェクト（地域再開発）

実践は別紙資料1の「日程」にあるとおりに進められていった。——以降、モビリティ・マネジメント教育に関わる1、2班の取り組みに絞って記述する。

<1班の取り組みについて>

1班は、飛び出し事故の危険性が高いと見られるT地域の交通状況にスポットを当て、地域その他に発信し、注意を喚起、安全意識の高揚をねらいとして取り組みをスタートした。

と、第一次提言会（中間発表会）時に、指導・助言者としてお招きした、同地域の自治会長さんから二十数年前に交通死亡事故があり、当時高校一年生だった女生徒が一名亡くなったことを聞かされた。自分達とほぼ同年齢であることに加え、生きていれば自身の母親と同年代であったことが、生徒達に事故を身近なものに感じさせた。

11月に行われた最終提言会では、T地域自治会長さんから教わったことも交え、参会してくださった大勢の大人達を前に堂々と発表。自治会長さん達や、区の行政担当者の方達も深く聞き入っていたようだった。

<2班の取り組みについて>

2班は、自身らの進学に伴って考えざるをえない交通手段という意味合いで取り組みをスタートした。

同じ新潟市北区の松浜は、岡方と同様に電車路線のない地域である。冬ともなれば降雪・積雪のため、頼る交通手段はバスか自家用車に限られる。限定された交通手段がため、進学先も制限がかかり、かつては進学熱、勉強熱の上がらない地域であった。が、現在「モーニング・ライナー」と称したバスが通るようになり、新潟市内の有名進学校まで容易に通学できるようになっている。そのバス路線の開通に、多かれ少なかれ地域の力が働いたろうことは想像に難くない。

生徒達は、その「モーニング・ライナー」の存在を突き止めた。バス会社に電話し、以前、岡方地域を通過していたバス路線が廃線となった理由とともに、この「モーニング・ライナー」開通の経緯も訊いてみた。前者については「利用者の減少」との回答を得たが、後者については「分からない」と言葉を濁らされてしまった。

第一次提言会（中間発表会）で、生徒達は指導・助言にあたった区の行政担当者から「乗り合いタクシー」の話聞いた。生徒にとっては“初耳”であったが、そのあまり知られていないことに問題がある、ということに生徒達はいち早く気付くことができた。

次に生徒達は実態調査に着手した。アンケートである。1、2年生にまで手を広げアンケートを実施したばかりでなく、合唱発表会時に来校した保護者や地域の人達にもアンケートをとった。アンケートは対象者の意識を知るだけでなく、「モーニング・ライナー」や「乗り合いタクシー」の存在を教えることも目的としていた。

最終提言会では、アンケート結果を効果的に使い、「乗り合いタクシー」の実態と問題点に触れつつ、「モーニング・ライナー」「イブニング・ライナー」を岡方地域に新設することを訴えた。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。